強者の戦略

【はじめに】

10月に入り、台風が日本に上陸して、被害をもたらしています。今週の日曜日から月曜日にかけて、太平洋側を中心に大雨や暴風により、交通機関がマヒしました。特に、東海から関東では鉄道の運転見合わせが夜まで続き、帰宅する会社員などに影響が出ました。また、現在日本の南海上にある台風19号が、来週の日曜から月曜日にかけて、西日本に接近ないしは上陸すると予想されています。この時期、多くの受験生は模擬試験を受験するため、台風で中止になったらたまったものではありません。しかし、自然が相手では何もできないので、台風が日本からそれるのを願うばかりです。

さて、今回の予想問題ですが、企業が不祥事を起こした際、記者会見を開いて、経営者が経緯や今後の対策などを説明し、謝罪をします。ここで問題となるのは、経緯などの説明です。単に経緯を説明しても、真実とは限りません。だからこそ、アカウントビリティが重要になるのです。受験生のみなさんが、どの程度まで用語の意味を知っていて、自分の考えを書くことができるかがポイントになります。

では、解答・解説へといきます。

【解答例】

企業が不祥事を起こした際、それが発生した原因や、同じことを繰り返さないようにするための対策や防止策を説明する責任がある。これをアカウントビリティという。ここでいう説明とは、経営者がマスメディアに出て、経緯や対策を説明するだけではない。その説明が、どこまで信用できるものなのか判断できないと意味がない。そこで、企業は第三者委員会や第三者機関などを設置して、その代表者が調査結果を説明することで信用度が高まる。また、企業は株主や消費者など利害関係者に対して、より詳しい説明をする必要がある。例えば、株主は株価の変動により、損失を被ることが考えられる。その場合、企業に対して株主代表訴訟を起こし、企業に

損害賠償を求めることになる。また、企業に対する信用が低下し、消費者離れが進み、売り上げなどの面でも影響が出る。それゆえ、企業は第三者を加えた調査を実施し、その下で信頼回復に十分な説明をしなければならない。(400字)

【解説】

1. アカウンタビリティの意味

アカウンタビリティは、権限を行使したり組織を指揮・監督する人が、自ら（の組織）の行動（または行動を怠ったこと）やその結果について、利害関係者や社会に対して報告・説明を行なう責任のこと。企業や行政のトップや政治家など、社会に影響を与える権限を持つ立場の人に求められる責任のあり方の一つである。

しかし、アカウンタビリティは説明することだけを示しており、どのような説明をするのかまでは示されていない。したがって、今回の設問に対する解答として、説明の内容や説明に至る過程について各自の考え方を示すことができれば、答案としてはよいと思われる。また、不祥事における説明責任を果たしても、不十分であったり、信用できないようなものであれば、企業がどのような不利益を受けるのかを考えることも可能であろう。

解答例では示さなかったが、金融機関との取引停止や、他企業との業務提携の破棄、株式の持ち合い解消など、いろいろなことが考えられる。後は、みなさんが、答案に盛り込むことができるかどうかである。

2. 不祥事以外の説明責任

アカウンタビリティは、もともとはアカウンティング（会計）とレスポンシビティー（責任）の合成語で、会計責任のことでもある。企業会計は株主その他出資者から資産の管理運用を委託された受託者の立場を表わし、日々の取引を記録、分類、計算し報告する。会計の一般的手続は、この受託責任を

強者の戦略

明らかにする行為であると考えるのである。したがって、企業の不祥事における説明責任だけではない。

他にも社会貢献、環境対策、経済活動などの説明も含まれる。特に、社会貢献については、株主など投資家の企業評価として、近年は重視されている。少し話はそれるが、企業の社会貢献として、みなさんはいくつの用語を知っているだろう。例えば、フィランソロピーやメセナなどは、センター試験でも出題されている。フィランソロピーは慈善事業のことで、メセナは文化・芸術支援のことである。こうした社会貢献の説明は、企業のホームページに数多く掲載されている。また、環境対策も企業の評価に大きく影響する。例えば、工場から排出される煤煙について、有害物質を除去していれば、その企業に対する投資は増大する。あるいは、そういう装置を発明できれば、評価が高まる。このように、同じ説明でも、企業評価につながる説明も含まれる。

3. 最後に

最近の一橋大学のビジネス基礎の出題傾向として、受験生に考え方を答えさせる。決まった解答はないものの、理にかなった考え方でなければ、減点されることになる。また、400字の論述であるから、できるだけ多くの事柄を盛り込んで、内容を膨らませることが必要である。今回の問題でも、株主と消費者のように、それぞれの影響を分けて書いた。細かいことだが、そういう答案が書けないと、合格ラインの到達は厳しいといえる。